



ID: 1214

科目名	保育実習Ⅱ(後半)【26年度生用】			コード			
英語表記	nursery training Ⅱ						
担当教員名	国広 勝代・石川 正一			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	通年		単位数		
授業形態	実習	授業形式		履修形態	選択必修		
授業概要							
<p>保育実習Ⅰで学んだ実習体験を生かし、本実習では知識・技能を高めることを目的とする。具体的には、保育実習Ⅰにおける保育所の実習で行った観察・参加・部分実習に加え、実際に一日の指導計画を立案して保育を行う。全日の保育に当たり、子どもの実態を捉え、そこからねらいや内容を導き出して計画を立案し、環境設定や準備を行う。そして、計画と実践の相違点を実感したり、臨機応変な対応の必要性などを体験的に理解していく。</p>							
到達目標							
<p>・保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。・既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。・保育士としての自己の課題を明確にする。</p>							
授業計画							
第1回							
第2回	【保育実習】						
第3回	保育所……………10日						
第4回							
第5回	《事前》						
第6回	・保育所実習にあたっての心構えを確認する。(「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を受講)						
第7回							
第8回	《実習中》						
第9回	・各保育所の方針に従って実習を行う。						
第10回	・保育実習担当教員による巡回指導を受ける。						
第11回							
第12回	《事後》						
第13回	・実習をふりかえり、「保育実習報告Ⅱ」を作成する。						
第14回	・保育実習報告会で体験報告をする。						
第15回							
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
実習園の評価を基にしながらか実習日誌の記録、巡回指導時の実習態度で評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30%	70%		
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
大場幸夫・大嶋恭二編著「保育実習13」ミネルヴァ書房今井和子編著「記録の書き方 評価のしかた」ひとなる書房							
キーワード							
保育所実習 計画 実践 評価							